

第10章 居住期間

1 年齢、男女別居住期間

出生時から引き続き現住居に住んでいる人は7.5%

居住期間別の割合をみると、出生時から引き続き現住居に住んでいる人は7.5%、出生時の住居とは異なる場所に移動したことがある人（以下「移動者」という。）は76.6%となっています。

「移動者」について居住期間別にみると、「20年以上」が25.9%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が18.5%、「1年以上5年未満」が14.9%、「5年以上10年未満」が12.3%となっています。

これを年齢階級別にみると、0～4歳では「出生時から」が49.3%、「移動者」が33.6%であるのが、5～9歳ではそれぞれ30.2%、53.1%と比率が逆転しています。また、20～24歳からは「出生時から」は10%を下回り、35～39歳まで「1年以上5年未満」の割合が25%を超えています。また、「20年以上」の割合が30%を超えるのは、男女とも55歳以上の年齢階級となっています。

【表10-1、図10-1】

図10-1 居住期間、年齢（5歳階級）別人口の割合（令和2年）

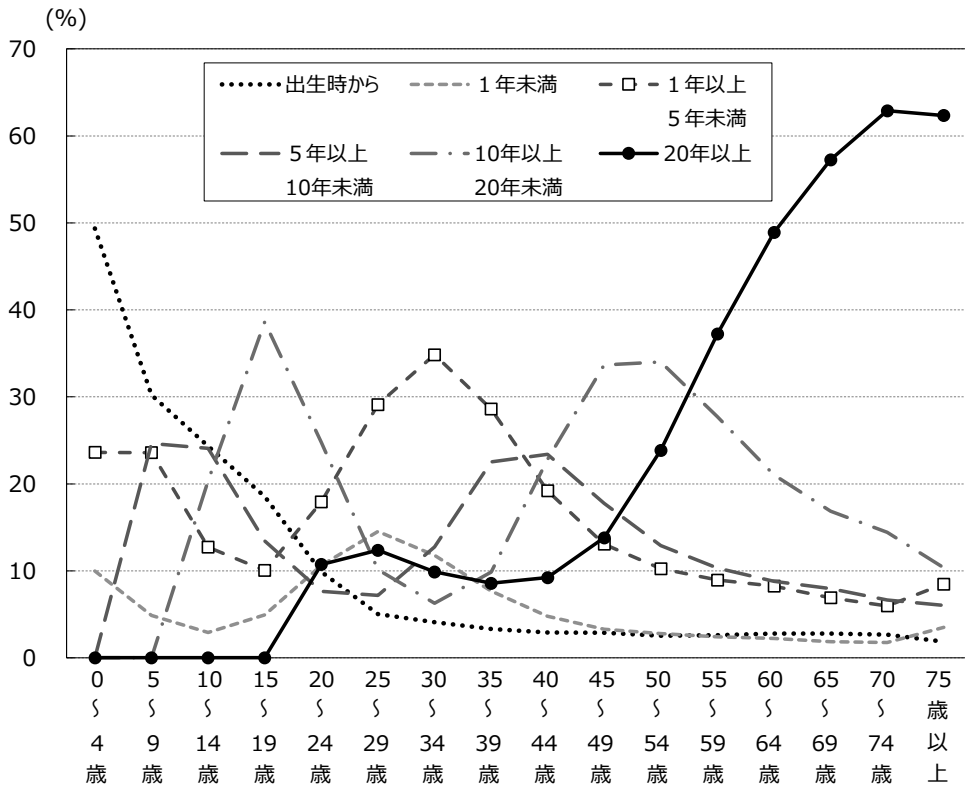


表 10-1 居住期間、年齢（5歳階級）、男女別人口の割合（令和2年）

（単位：％）

男女 年齢	総数 ¹⁾	出生時 から	移動者の現住所での居住期間					
			移動者 総数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
総数	100.0	7.5	76.6	5.1	14.9	12.3	18.5	25.9
0～4歳	100.0	49.3	33.6	10.0	23.6	-	-	-
5～9歳	100.0	30.2	53.1	4.9	23.6	24.6	-	-
10～14歳	100.0	24.3	60.0	2.9	12.7	24.1	20.3	-
15～19歳	100.0	18.5	67.0	4.9	10.1	13.4	38.6	-
20～24歳	100.0	9.9	71.7	10.6	17.9	7.6	24.8	10.7
25～29歳	100.0	5.0	73.3	14.5	29.1	7.2	10.1	12.4
30～34歳	100.0	4.1	75.5	11.8	34.8	12.8	6.3	9.9
35～39歳	100.0	3.3	77.2	7.7	28.6	22.5	9.9	8.6
40～44歳	100.0	2.9	79.4	4.8	19.2	23.4	22.8	9.2
45～49歳	100.0	2.9	81.6	3.3	13.1	17.7	33.7	13.8
50～54歳	100.0	2.5	83.8	2.8	10.3	12.9	34.0	23.8
55～59歳	100.0	2.6	86.7	2.4	8.9	10.3	27.7	37.2
60～64歳	100.0	2.8	89.2	2.2	8.2	8.8	21.0	48.9
65～69歳	100.0	2.8	90.8	1.9	6.9	8.0	16.9	57.3
70～74歳	100.0	2.7	91.7	1.8	6.0	6.6	14.4	62.9
75歳以上	100.0	1.8	90.7	3.5	8.5	6.0	10.3	62.3
男	100.0	8.3	74.3	5.1	14.8	12.1	18.1	24.1
0～4歳	100.0	49.5	33.6	10.0	23.6	-	-	-
5～9歳	100.0	30.3	53.1	4.9	23.6	24.6	-	-
10～14歳	100.0	24.5	59.6	2.9	12.6	23.8	20.2	-
15～19歳	100.0	18.4	67.1	5.1	9.9	13.4	38.8	-
20～24歳	100.0	9.9	70.8	10.6	17.9	7.6	24.2	10.6
25～29歳	100.0	5.0	70.8	14.1	27.9	6.9	9.8	12.0
30～34歳	100.0	4.4	73.4	11.7	33.1	11.7	6.4	10.4
35～39歳	100.0	3.7	75.2	7.9	28.2	20.7	8.9	9.5
40～44歳	100.0	3.4	77.2	5.0	19.6	22.5	20.0	10.1
45～49歳	100.0	3.5	79.1	3.5	13.5	17.5	30.9	13.7
50～54歳	100.0	3.2	81.2	3.0	10.7	13.1	32.9	21.6
55～59歳	100.0	3.3	83.9	2.6	9.3	10.6	28.0	33.5
60～64歳	100.0	3.7	86.5	2.5	8.8	8.9	21.6	44.7
65～69歳	100.0	4.1	88.1	2.0	7.3	8.5	17.1	53.2
70～74歳	100.0	4.0	89.5	1.9	6.2	6.9	14.8	59.7
75歳以上	100.0	3.1	90.0	2.8	6.3	5.1	10.3	65.5
女	100.0	6.8	78.9	5.0	14.9	12.4	18.8	27.8
0～4歳	100.0	49.2	33.6	9.9	23.6	-	-	-
5～9歳	100.0	30.2	53.1	4.8	23.6	24.7	-	-
10～14歳	100.0	24.1	60.5	2.9	12.8	24.3	20.5	-
15～19歳	100.0	18.7	67.0	4.8	10.2	13.4	38.5	-
20～24歳	100.0	9.8	72.6	10.7	17.9	7.7	25.4	10.9
25～29歳	100.0	5.1	75.9	14.9	30.4	7.4	10.4	12.8
30～34歳	100.0	3.8	77.8	11.9	36.6	13.8	6.1	9.4
35～39歳	100.0	2.9	79.3	7.5	29.0	24.4	10.9	7.6
40～44歳	100.0	2.3	81.6	4.5	18.8	24.3	25.7	8.3
45～49歳	100.0	2.2	84.0	3.1	12.6	18.0	36.4	13.9
50～54歳	100.0	1.9	86.5	2.6	9.8	12.7	35.2	26.2
55～59歳	100.0	1.8	89.6	2.3	8.6	10.1	27.4	41.2
60～64歳	100.0	1.8	92.0	2.0	7.7	8.6	20.5	53.2
65～69歳	100.0	1.5	93.5	1.7	6.6	7.4	16.6	61.2
70～74歳	100.0	1.4	93.7	1.7	5.8	6.4	14.1	65.8
75歳以上	100.0	1.0	91.2	4.0	10.0	6.6	10.4	60.2

1) 居住期間「不詳」を含む。

2 就業者の居住期間

就業者の4人に1人は居住期間が5年未満

15歳以上就業者について居住期間別割合をみると、「出生時から」が4.4%、「1年未満」が6.8%、「1年以上5年未満」が19.9%、「5年以上10年未満」が15.8%、「10年以上20年未満」が25.8%、「20年以上」が26.6%となっており、「1年未満」と「1年以上5年未満」を合わせた5年未満は26.7%となっています。

居住期間別割合を産業別にみると、5年未満は「鉱業、採石業、砂利採取業」(35.4%)、「公務」(33.9%)、「情報通信業」(33.7%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(29.3%)などの産業で高くなっています。また、「出生時から」の割合は「第1次産業」(25.6%)が高く、次いで「第3次産業」(4.4%)、「第2次産業」(3.6%)となっています。

【表10-2】

表10-2 居住期間、産業（大分類）別15歳以上就業者の割合（令和2年）

(単位：%)

産業大分類	総数 ¹⁾	出生時 から	移動者の現住所での居住期間					
			移動者 総数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
総数	100.0	4.4	95.0	6.8	19.9	15.8	25.8	26.6
A 農業、林業	100.0	25.7	74.0	2.7	9.1	7.6	13.8	40.7
B 漁業	100.0	23.6	76.0	0.9	9.3	11.6	12.0	42.2
C 鉱業、採石業、砂利採取業	100.0	2.4	97.6	7.5	27.8	16.0	28.8	17.5
D 建設業	100.0	3.9	95.9	6.4	19.6	15.6	25.6	28.8
E 製造業	100.0	3.4	96.4	7.3	21.8	17.3	26.6	23.5
F 電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	3.4	96.3	7.0	19.5	15.9	28.9	25.0
G 情報通信業	100.0	3.4	96.6	9.2	24.5	18.0	26.3	18.7
H 運輸業、郵便業	100.0	4.9	94.9	6.3	19.2	15.9	25.8	27.7
I 卸売業、小売業	100.0	5.2	94.6	6.2	19.0	15.6	27.2	26.6
J 金融業、保険業	100.0	3.3	96.7	7.1	20.3	16.0	28.6	24.6
K 不動産業、物品賃貸業	100.0	6.9	93.0	5.2	15.8	13.7	21.9	36.3
L 学術研究、専門・技術サービス業	100.0	3.2	96.7	7.5	21.9	16.8	24.7	25.9
M 宿泊業、飲食サービス業	100.0	6.5	93.2	6.4	19.4	15.5	29.6	22.3
N 生活関連サービス業、娯楽業	100.0	5.4	94.4	6.9	20.0	14.9	24.3	28.3
O 教育、学習支援業	100.0	4.3	95.6	6.7	18.8	15.1	27.3	27.6
P 医療、福祉	100.0	3.3	96.6	7.1	20.3	16.0	25.6	27.6
Q 複合サービス事業	100.0	7.4	92.4	5.0	16.8	16.0	27.5	27.2
R サービス業（他に分類されないもの）	100.0	4.4	95.3	6.1	18.1	15.0	24.3	31.9
S 公務（他に分類されるものを除く）	100.0	2.7	97.2	10.0	23.9	17.7	25.3	20.3
（再掲）第1次産業（A、B）	100.0	25.6	74.0	2.7	9.1	7.8	13.8	40.7
第2次産業（C～E）	100.0	3.6	96.2	6.9	21.0	16.7	26.2	25.4
第3次産業（F～S）	100.0	4.4	95.4	6.9	20.0	15.9	26.1	26.5

1) 居住期間「不詳」を含む。

3 行政区別居住期間

西区では居住期間が5年未満の人の割合が高い

居住期間別人口を行政区別にみると、「移動者」のうち5年未満の割合が最も高い区は、西区(25.8%)で、以下、港北区(23.1%)、都筑区(22.5%)、神奈川区(21.9%)と続いています。

一方、「移動者」のうち「10年以上20年未満」と「20年以上」を合わせた10年以上の割合は、泉区(52.8%)、栄区(52.5%)、金沢区(51.7%)、旭区(50.8%)、港南区(50.2%)で50%を上回っています。

【表10-3】

表10-3 行政区別居住期間別人口の割合—市、行政区(令和2年)

(単位: %)

行政区	総数 ¹⁾	出生時から	移動者の現住所での居住期間					
			移動者総数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
横浜市	100.0	7.5	76.6	5.1	14.9	12.3	18.5	25.9
鶴見区	100.0	8.8	70.9	4.7	14.5	12.9	17.4	21.5
神奈川区	100.0	8.0	71.8	5.7	16.2	12.0	16.6	21.4
西区	100.0	8.3	72.9	6.8	18.9	12.4	17.4	17.2
中区	100.0	6.3	66.5	6.3	14.9	12.4	15.8	17.1
南区	100.0	7.9	71.4	4.7	13.6	10.9	15.8	26.4
港南区	100.0	6.9	79.0	4.7	13.0	11.1	18.3	31.9
保土ヶ谷区	100.0	7.7	74.9	4.8	13.7	11.1	16.9	28.4
旭区	100.0	7.6	79.4	4.2	13.2	11.2	18.1	32.7
磯子区	100.0	7.6	78.7	4.8	13.8	13.7	18.3	28.1
金沢区	100.0	7.5	80.7	4.3	13.4	11.3	19.0	32.7
港北区	100.0	7.5	73.8	6.1	17.0	12.8	16.6	21.4
緑区	100.0	7.5	79.8	5.2	15.6	13.0	20.1	25.9
青葉区	100.0	5.8	79.5	5.3	16.0	13.8	21.2	23.2
都筑区	100.0	7.0	79.3	5.4	17.1	14.9	21.7	20.2
戸塚区	100.0	8.1	81.2	4.7	15.8	11.8	20.3	28.6
栄区	100.0	6.7	79.8	4.4	12.2	10.7	20.7	31.7
泉区	100.0	8.2	82.2	4.6	13.5	11.3	19.1	33.7
瀬谷区	100.0	7.9	77.9	4.1	12.6	11.2	19.6	30.4
(参考)								
神奈川県	100.0	8.4	77.6	5.1	15.1	12.2	18.3	26.9
全国	100.0	11.3	77.1	5.1	14.6	11.4	16.0	30.1

1) 居住期間「不詳」を含む。